

2008年 新年の



松前町議会議長
木下 淳

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は新潟県中越沖地震、能登半島の地震などをはじめ大型台風の上陸、豪雨による自然災害が発生し、今なお各地で復旧作業が進められています。パキスタン、インドネシア、スマトラ沖地震など世界各地でも起こって近年の異常気象により、災害が予期せぬ形で襲ってきます。いざという時のため自主防災組織を各地区で結成していただくよう引き続きご協力をお願いします。

一昨年NHK紅白歌合戦で愛媛県西条市出身のテノール歌手、秋川雅史さんが歌った「千の風になって」が昨年大ヒットしました。大切な人の死を悼みながらも生前に伝えられなかった奥底から発せられる言葉の数々は、心に染み渡ると共に命の活躍振りに感動しました。

政治においては宮崎県知事に東国原英夫（そのまんま東）氏が初当選して、宮崎県活性化のため本人自らが広告塔になり努力している姿には感心させられました。今後のご活躍を期待します。

また町議会議員選挙においては前回より議員定数を2名減の14名で選挙をして新人6名、現職8名という結果になりましたが、少数精鋭で一丸となつて議員活動をしていきたいと思っております。

現在、国・地方が抱える債務は合わせて1,000兆円にもおよび（国民1人あたり約830万円）国政、地方行政において三位一体、行財政改革、地方分権の推進により画一的行政から「自己決定、自己責任の原則」に立つ自主的かつ自立した地方自治への転換が求められています。しかし、地方分権の名のもと構造改革、三位一体の改革は地方への収収移転と同時に補助金、地方交付税を減らし、地方への権限移譲と財政再建を進めています。補助金を減らした結果、都市部とそれ以外の地域間の経済格差ができて、このままだと経済社会の活力を損なう可能性があり、これを是正する必要があります。地方なくしては国は成り立たないので公正な改革を望むものです。

我が国の経済は景気拡大期間が、いざなぎ景気を超えたといわれていますが、実感として好景気とは感じられません。こうした中、以前に北海道夕張市の財政再建問題がありました。市町村の厳しい財政状況は全国自治体の共通課題で本町におきましても厳しい財政状況ではありますが、今年も引き続き行財政改革を行い健全財政に取り組んでまいります。こうした厳しい状況を打破し、活力のあるまちづくりを進めるため経済の活性化が求められています。東レの生産ラインの増設と、今春オープン予定の大型商業施設エミフルM A S A K I に期待したいと思っております。

町民の皆様方におかれましては、今後益々の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに本年が皆様方にとりまして飛躍と発展の年になりますよう心からお祈り申し上げます、ご挨拶いたします。

松前町議会

副議長

三好 勝利

議員

城村トキ子

加藤 博徳

村井慶太郎

八束 正

寺下 武

藤岡 緑

松本一二美

岡井馨一郎

早瀬 武臣

澤田登代一

伊賀上明治

植田 喜晴